

發 言 通 告 書

令和 7 年 12 月 2 日

松山市議会議長 原 俊 司 殿

松山市議会議員 門 田 寛 子

次のとおり通告します。

発言順位	1 3	受領日時	12 月 2 日 午前・午後 11 時 25 分	1 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式		・ 一括方式	発言時間 約 30 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・選挙管理委員会委員長 ・公平委員会委員長 ・農業委員会会長 ・監査委員 ・公営企業管理者			

No	件名	発言の要旨
1	本市の有機農業と学校給食での地産地消の取組について	<p>(1)持続可能な農業を推進するための有機農業について</p> <p>①令和6年度の環境保全型農業直接支援対策事業における有機農業の事業対象者数とその取組面積について</p> <p>②有機農業の面積拡大を進めるための本市独自の支援について</p> <p>(2)学校給食における食育と地産地消について</p> <p>①地産地消促進計画における学校給食の位置づけと連携について</p> <p>②学校給食における地産地消の取組の現状と今後どのように推進していくのか問う。</p> <p>③地元と密着した食育の取組を実施しているが、さらに広げるつもりはないか、本市の見解を問う。</p> <p>④夏休み期間における調理場の地産地消の取組を問う。</p>
2	A 類定期予防接種事業中の HPV ワクチン等について	<p>(1)ワクチンの接種勧奨を再開する際、本市は、どのような国内外のエビデンスを参照したのか。</p> <p>(2)ワクチンの接種勧奨を差し控えていた期間に接種を逃した世代に対し、本市はどのように対応しているのか。</p> <p>(3)子宮頸がん検診の受診率向上のために、どのような取組を行っているか。</p>